



令和元年東日本台風による 被害概要と復旧・復興の状況

令和6年4月
宮城県丸森町

1 降雨量と河川の水位

- 令和元年10月12日昼から台風19号により、仙南、仙台、大崎地域を中心に大雨となり、河川の増水や浸水、土砂崩れが発生した。
- 降り始めからの総降水量は、仙台(仙台市)で383.5mm、丸森(丸森町)では、427.0mmを観測し、10月1ヶ月分の平均値の2～3倍の雨量となった。特に、**筆甫(丸森町)では、594.5mmとなり、既往最大の豪雨を観測。**
- 気象庁は**10月12日19時50分に宮城県に大雨特別警報を発令した。**

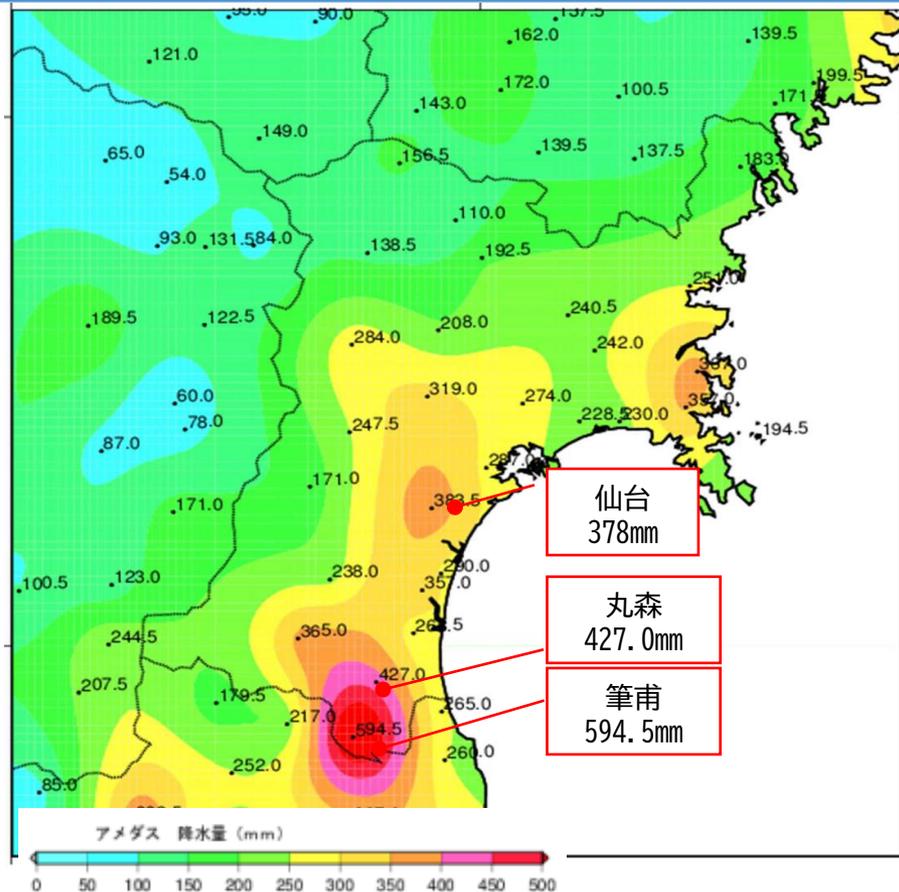
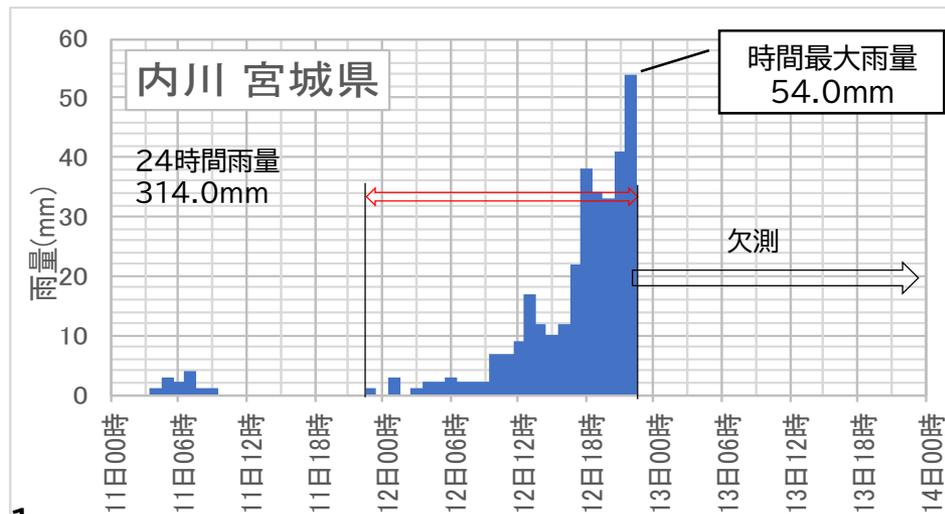
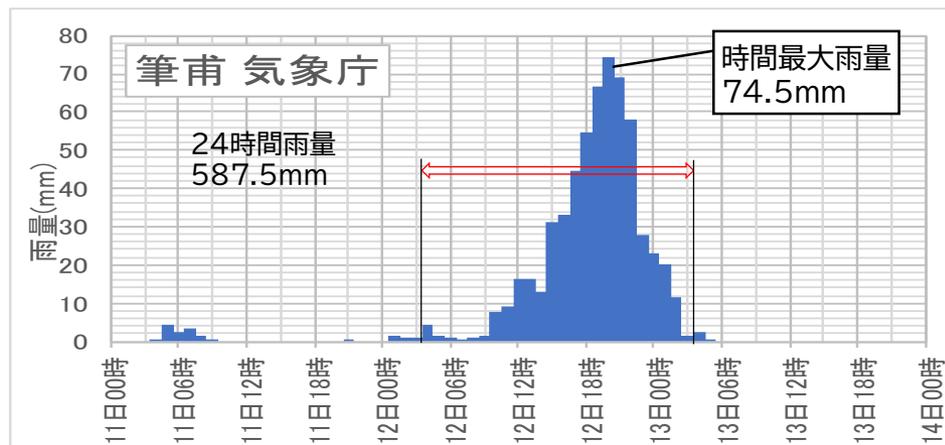


図:10月11日15時から13日9時までの総降水量 (単位:mm)

出典:仙台管区气象台資料 宮城県資料



1 降雨量と河川の水位

町内観測所 位置図

雨量観測所

水位観測所

町内6箇所の雨量観測所の全てで過去最大の雨量を観測し、大内観測所では、最も多い総雨量612mmを観測しました。

河川の最高水位は、阿武隈川で降り始めから8.56m上昇し23.44m、雉子尾川で降り始めから6.74m上昇し7.11mを記録しました。県が管理する内川、新川及び五福谷川では計18箇所が決壊し、各地で被害が発生しました。



1 降雨量と河川の水位

(1) 降雨量 (10/12~13)

観測所	総雨量	最大時間雨量	観測時間
丸森	427mm	60mm	10/12 23:00
内川	314mm	54mm	10/12 22:00
笠松	560mm	78mm	10/12 22:00
筆甫	594mm	74mm	10/12 20:00
大内	612mm	77mm	10/12 22:00
大張	481mm	55mm	10/12 22:00

(2) 河川の水位

河川名	観測所	最高水位	氾濫危険水位	河川の状況
阿武隈川	丸森	23.44m	22.30m	危険水位 + 1.14m
内川	内川	9.84m	-	堤防決壊
雉子尾川	山居	7.11m	-	越水発生

河川の氾濫被害



河川の氾濫被害



2 被害の概要

(1) 人的被害

死者	災害関連死	行方不明者	けが人
10名	1名	1名	2名

丸森地区子安



2 被害の概要

(2) 公共土木施設・農林業施設等の被害

2,904か所 被害額 **376億3,284万円**

区分	被害か所数
町道	341か所
河川	338か所
橋梁	3か所
都市施設	1か所
下水道施設等	5か所
農林業施設	2,216か所



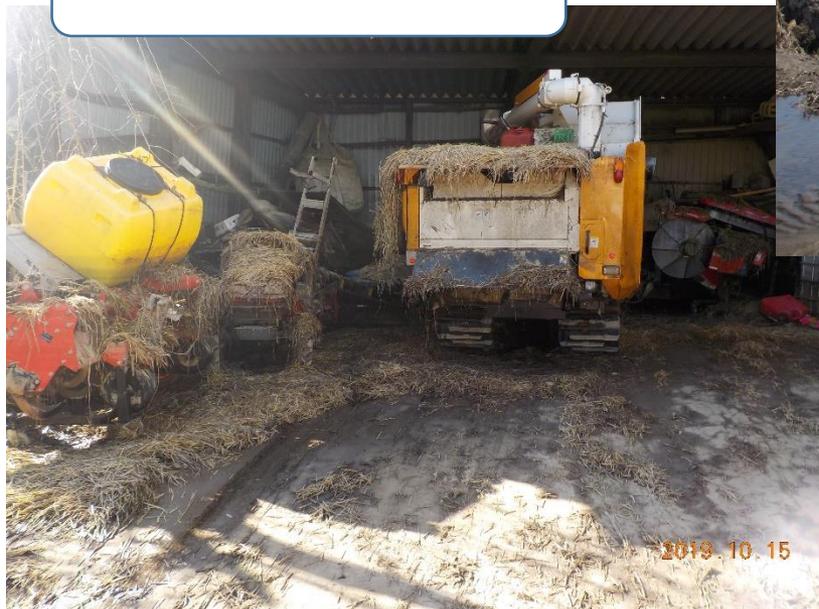
被災した町道



2 被害の概要

(3) 農作物・農業用機械等の被害

小斎地区農業用倉庫



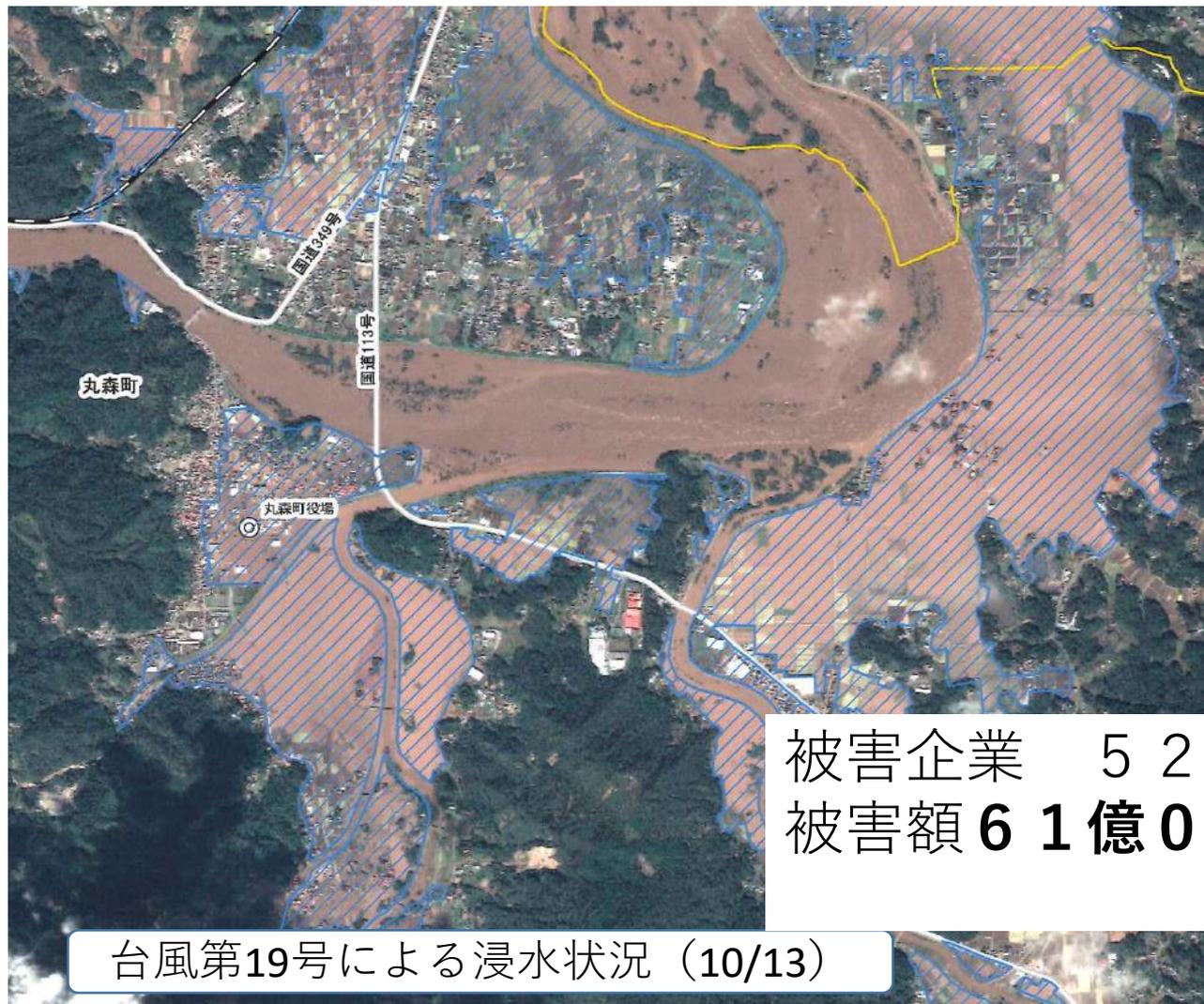
丸森地区竹谷農地



被害面積 364 ha
被害額 **11億4,544万円**

2 被害の概要

(4) 商工業被害 浸水及び断水等の影響



2 被害の概要

(5) 河川の決壊（県管理）



内川	10	か所
新川	4	か所
五福谷川	4	か所

2 被害の概要

(6) 住宅被害

床上 908世帯 床下 316世帯



2 被害の概要

(7) 家屋調査の状況

・全壊	1 1 5 戸
・大規模半壊	2 4 8 戸
・半壊	6 3 3 戸
・準半壊	1 4 戸
・一部損壊	3 3 2 戸
合計	1, 3 4 2 戸

丸森地区 五福谷



2 被害の概要

(8) 断水



上水道施設の取水口の被害及び一部停電の影響により、**町内全域（3,400戸以上）**で令和元年10月13日から**断水**。

11月1日に仮復旧



2 被害の概要

(9) 避難所の設置 14か所 避難者数 545人

丸森小学校



※2020/10/25
(最大)

町内にプレハブ応急仮設住宅が完成し、令和元年12月29日にすべての避難所を閉鎖。



3 災害復旧・復興への課題

(1) 財政的な課題

令和元年東日本台風による被害は甚大なものがあり、激甚災害の指定や災害救助法に基づく財政支援の対象とならない復旧経費も膨大になることが見込まれます。

- ◎ 本町の標準財政規模（H30年度） 51億3,695万円
 - ◎ 財政力指数 0.297

 - ◎ 令和元年度における当初予算の額 89億9,400万円
 - ◎ 最終予算額 268億1,002万円
- ※約3倍に増額

被害総額は **472億8,164万円** にのぼっており、各種補助事業等を活用した復旧及び復興に迅速に取り組むためにも、一般財源の確保が急務となっています。

3 災害復旧・復興への課題

(2) 人的な支援

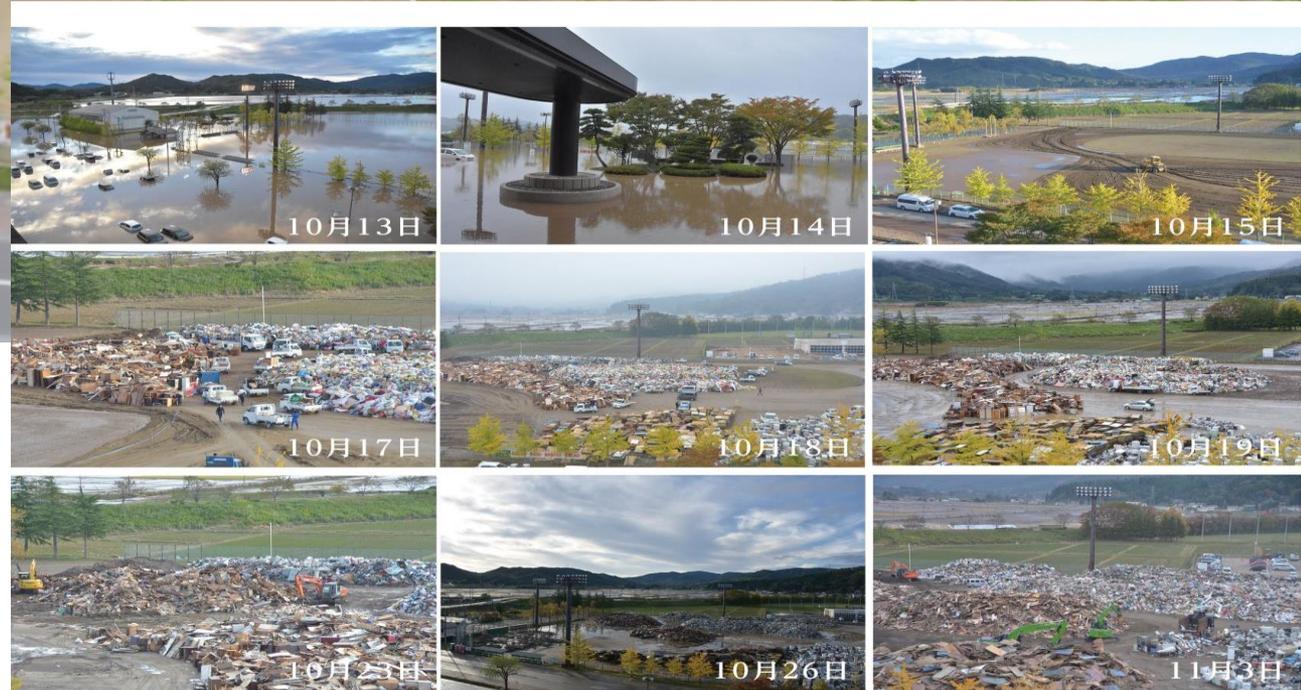
発災後、国・県・他市町村から支援を受け、被害状況の調査等を進めてきましたが、現在も災害復旧及び復興にかかる専門的人材の確保は重要な課題となっています。（令和4年4月1日現在の派遣職員数:11人）

今後、復旧工事の発注及び進捗管理等を行っていく必要がありますが、特に専門的な知識を有した技術職員等は、短期的・中長期的に多くの人員が不足する見込みであることから、国・県・他市町村・民間企業等から派遣いただけるようお願いしている状況です。



4 災害復旧・復興の状況

(1) 役場前の変遷



4 災害復旧・復興の状況

(2) 役場の体制

発災前

※職員数は、町長、副町長、教育長を除く。

職員数 229人
(2019.9.16)



発災後(R2)

職員数 271人
(2020.4.1)

うち新規採用職員 12人
派遣職員 17人



R3年度

職員数 268人
(2021.4.1)

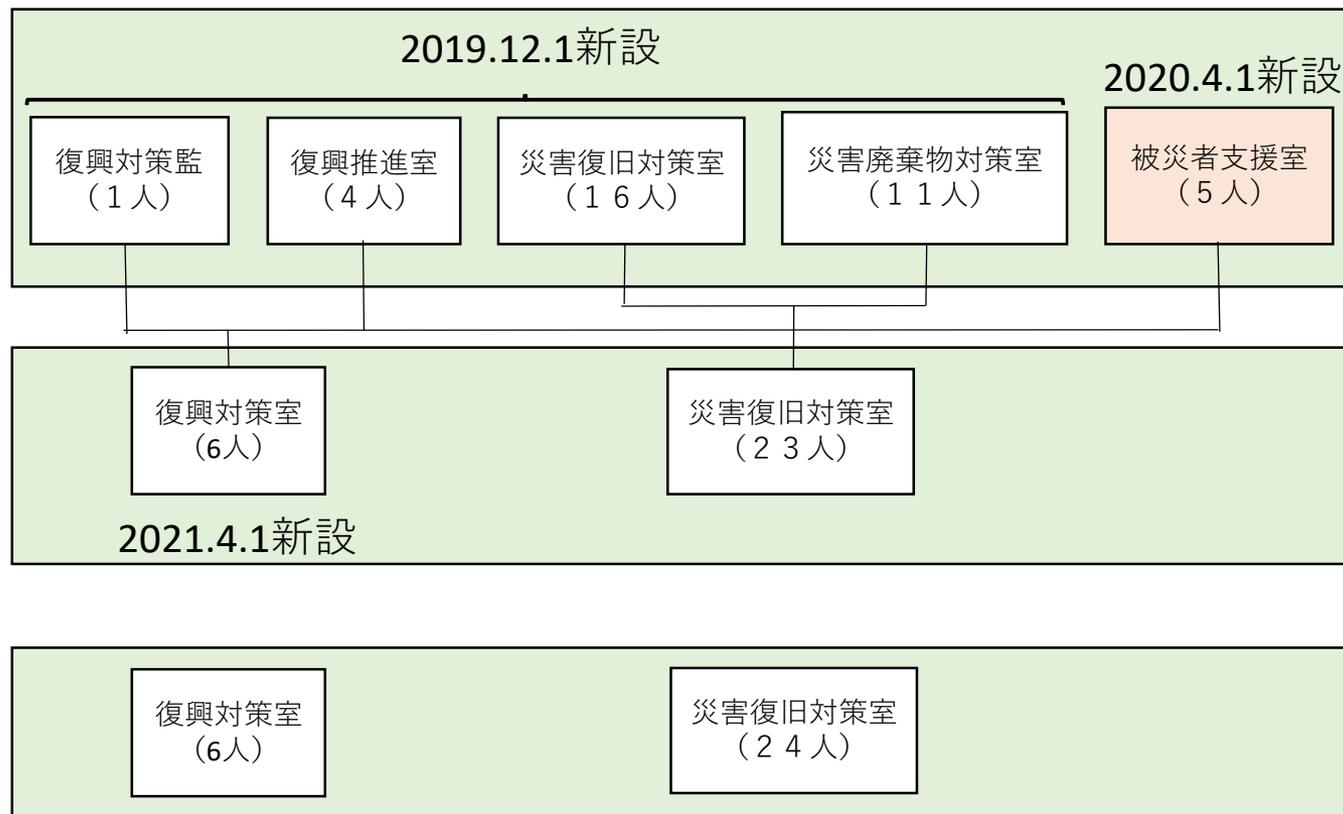
うち新規採用職員 10人
派遣職員 13人



R4年度

職員数 264人
(2022.4.1)

うち新規採用職員 9人
派遣職員 11人



R5年度



職員数 274人
(2023.4.1)

復興対策室
(5人)

災害復旧対策室
(26人)

うち新規採用職員 7人
派遣職員 8人

R6年度



職員数 258人
(2024.4.1)

復興対策室
2024.3.31で
廃止

企画財政課復興推進班
(2人)
2024.4.1新設

災害復旧対策室
(15人)

うち新規採用職員 10人
派遣職員 0人

※一部業務は建設課、保健福祉課へ移管

※人数は2024.4.1時点

4 災害復旧・復興の状況

(3) プレハブ仮設住宅の建設状況 6団地 208戸



団地名	建設戸数	入居開始日	最大入居世帯数	
			世帯数	入居者数
①花田仮設団地	68	R1.12.21	68	132
②金山仮設団地	29	R1.12.24	19	52
③寺内仮設団地	60	R1.12.21	47	88
④町西仮設団地	24	R1.12.23	21	60
⑤和田仮設団地	12	R1.12.26	8	25
⑥大館仮設団地	15	R1.12.26	13	26
	208		176	383

※R2.3.31が入居者数最大の月

- ①県がプレハブ建築協会へ業者斡旋を要請
 - ②斡旋された業者が建設
 - ③県と斡旋業者がリース契約を締結
 - ④町と入居者が使用貸借契約を締結
- ◇入居者の家賃負担はない。

※仮設住宅の供給は災害救助法に基づいており、建設等の財源は全額災害救助費（国庫）となる。

※R5.12.25に最後の入居者が退去したことに伴い、全ての仮設住宅が解体・撤去済

4 災害復旧・復興の状況

(4) 花田仮設団地の例

宮城県土木部住宅課提供資料

県名	宮城県	市町村	丸森町	団地名	花田仮設団地	住所	丸森町字花田104-1ほか	メーカー名	郡リース(株)	引渡日	12月20日	戸数	68戸
----	-----	-----	-----	-----	--------	----	---------------	-------	---------	-----	--------	----	-----



集会所

4 災害復旧・復興の状況

(5) 復旧・復興計画の策定

復旧・復興基本方針

令和元年12月17日策定

1 位置づけ

◇「丸森町復旧・復興基本方針」は、台風第19号被害から、本町がどのように復旧・復興に取り組んでいくかという基本的なビジョンや理念を示すものです。

2 復興ビジョン

共に立ち上がろう
次代につなぐ新たな丸森づくり

3 基本理念

1. 次代につなぐ『より良い復興』の実現

2. 誰一人取り残さない 持続可能なまちの創造

3. みんな一丸！協働によるふるさと再生

復旧・復興計画

令和2年6月17日策定

1 策定の経緯

◇計画の策定に当たっては、まちづくり懇談会や住民意向調査、さらにはパブリックコメント等で寄せられた町民の皆様からの意向をはじめ、町内各地区の住民や専門的な知見を有する学識経験者などで構成する「丸森町復興推進委員会」での意見等を反映しながら策定しました。

2 基本施策

1. 安らぎのある暮らしの再建
2. 災害に強く魅力あふれるまちの創造
3. 活気あふれる産業・なりわいの再建

3 重点プロジェクト

1. 町産材を活用した災害公営住宅整備・町営住宅再建
2. 安全・安心の拠点形成
3. 「儲ける農業」創造

○丸森町復旧・復興計画の策定経緯

開催年月	策定体制		議会	町民参画	
	復興推進本部会議 ※町長、副町長以下、町の幹部職員で構成	復興推進委員会 ※町民及び学識経験者等で構成			
令和元年度	10月				
	11月				
	12月	【第1回】12月2日 【第2回】12月6日 【第3回】12月17日		12月18日 議員全員協議会	
		復旧・復興基本方針の決定			
		【第4回】12月27日	(設置) 12月25日		
	1月		令和元年度 【第1回】1月24日	◇まちづくり懇談会 【大内】1月16日 【耕野】1月17日 【金山】1月18日 【大張・小斎】1月20日 【筆甫・館矢間】1月21日 【丸森】1月22日	
	2月	【第5回】2月18日	【第2回】2月25日	2月10日 第6回 特別委員会 2月26日 第7回 特別委員会	◇住民意向調査 (2月4日～2月21日)
		復旧・復興計画(素案)			
	3月	【第6回】3月24日	【第3回】3月30日	3月27日 第8回 特別委員会	
		復旧・復興計画(中間案)			

令和 2 年度	4月	【第7回】4月13日		4月27日 第9回 特別委員会	◇パブリックコメント (4月1日～4月30日) ◇地区説明会 【金山】4月14日 【筆甫・小斎】4月15日 【大張・館矢間】4月16日 【耕野】4月17日 【大内・丸森】4月18日 ◇住宅再建意向調査 (4月15日～5月1日)
	5月	【第8回】5月19日	令和2年度 【第1回】5月27日	5月27日 第10回 特別委員会	
	6月	【第9回】6月17日		6月10日 第11回 特別委員会	

復旧・復興計画（最終案）

復旧・復興計画の決定

※特別委員会：令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会

4 災害復旧・復興の状況

(6) 土砂災害を防ぐための対策事例 国土交通省東北地方整備局提供資料



4 災害復旧・復興の状況

(7) 災害公営住宅の建設

- ①建設戸数：50戸(木造14戸 RC造36戸)
- ②入居開始：木造...令和5年3月～
RC造...令和5年7月～

完成イメージ

丸森大橋



完成後の様子(RC造)



完成後の様子(木造)



4 災害復旧・復興の状況

(8) 被災した町営住宅の集約・建替

・町営神明住宅

- ①建設戸数：90戸
(木造54戸 RC造36戸)
- ②入居開始：木造
令和4年12月～
RC造
令和5年3月～

・町営竹谷住宅

- ①建設戸数：20戸(木造)
- ②入居開始：令和4年7月～

◇被災した町営住宅の内訳

住宅名	管理戸数	入居戸数 (被災戸数)
神明住宅	106	92
鳥屋住宅	15	9
竹谷住宅	21	17
計	142	118



・町営神明住宅

完成イメージ



丸森大橋

東側工区24戸完成後の様子(木造)



完成後の様子(RC造)



・町営竹谷住宅

完成後の様子(木造)

